

2012年度 後期				リフレクションペーパー			
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設計Ⅳ						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース) 必修科目(建築コース) 選択科目(デザインコース)						
担当者	井原 徹						
授業の到達目標 (シラバスから)	・大規模建築の設計課題に取り組む。敷地の条件や設計対象建物の性格を把握し、建築構造ならびに設備などの技術的観点から建築デザインとして成り立つ設計案を検討する。 ・大規模かつ複合的な機能を有する建築を建築条件や機能構成の観点から検討し、構造や設備あるいは計画等の技術の観点からも妥当か検討を加える。 ・都市や地域的視点に立ち技術的・計画的・文化的意義を見いだせる建築設計を目指す。						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、設計のまとめ方等 第2回：課題-1「大規模文化施設」 課題の理解。資料配布 第3回：エスキス-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第4回：エスキス-機能条件の理解・一般ならびにサービス動線の処理と機能構成による立案 第5回：エスキス-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第6回：立体構成-断面による空間構成の確認とデザインコンセプトのまとめ 第7回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評 第8回：課題-2「複合多目的施設」課題の説明。資料収集ならびに敷地調査の方法 第9回：エスキス-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第10回：エスキス-機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案 第11回：エスキス-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第12回：立体構成-スタディ模型による空間構成の検討 第13回：立体構成-断面図による空間構成の検討 第14回：計画ならびにデザインコンセプトのまとめ 第15回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評						
成績評価基準	定期試験		実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション		10%		
	課題 演習	90%	計		100%		
授業到達目標の達成度	・大規模用途の建築のデザインを行い技術的検討を加えることができる。(B6):ほぼ達成できた ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6):ほぼ達成できた ・コンセプトの立案と設計への適用ができる。(B6):ほぼ達成できた ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6):ほぼ達成できた ・設計のプレゼンテーションを行うことができる。(A7,B6):ほぼ達成できた						
反省点	3名体制で50人のいたため今年度は脱落者は1名のみで他は船員合格しており、授業時間内に全学生を個別に指導することが出来た。しかし脱落した学生は提出前になると出席もなくなりメンタル面の課題といえる。本年は教員3名で2コマの間に50数名を指導しており、計算上からも一人当たり10分程度痔層できている。今後は学生の個性を以下に伸ばすかが課題となろう						
来年度の計画	学生の個々の個性ある能力をいかすために、フィールド調査や見学を含めて、個々に発見できる課題に修正していきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	旧来のマスプロ的授業形態の修正が出来た。もっと空間デザインが可能な指導を行う						
履修登録者数	55 名	定期試験 受験者数	52 名	合格者数	51 名	合格率	98%